

支援部だより

支援部だより 第2号

発行日 2026年7月3日

発行者 盛岡聴覚支援学校

支援部

紫陽花がきれいに色づき始める季節になってきました。本校では、本校職員と岩手県内で聴覚障がいのある幼児児童生徒と関わる職員を対象とした研修・公開講座を行っています。4月と5月に行われた研修を紹介します。

職員研修①「聴覚障がい有する幼児児童生徒の授業等における配慮点」 講師：本校教諭 吉田翼

きこえのしくみや補聴器・人工内耳の扱いについて学びました。また、本校における合理的配慮として、席の配置や書く活動と聞く活動を分けること、理解の仕方を確認することなどが紹介されました。研修を通して、聴覚障がいの特性を踏まえた支援の重要性を改めて認識しました。

職員研修②「聴覚障がい児へのコミュニケーションと手話について」 講師：本校教諭 内記裕美

きこえ方は一人ひとり違い、補聴器や人工内耳を装用していても「音」として聞こえることと「言葉」として意味がわかることはちがうため、確認すると日本語の意味がわかっていないことがあることを学びました。幼児児童生徒と手話でコミュニケーションをとるとき伝え方を再確認し、セルフアドボカシーのスキルを育てる教育が大切であることを学びました。



職員研修③「聴覚障がいと自立活動に関連して～自立活動の目標と指導の考え方」

講師：総括教務主任 佐藤陽子

自立活動の授業では内容の工夫に目が向きがちですが、改めてその目標や指導の考え方について学びました。聴覚障がいの特性を踏まえた自立活動の目標を確認することができ、有意義な研修となりました。

職員研修④「デジタル補聴援助システム Roger(ロジャー)及び線スピーカーの使用方法について」

講師：本校教諭 一條遥

本校で使用しているデジタル補聴援助システムや後方まで音が明確に届きやすい線スピーカーの使用方法について確認しました。どのような場面でこれらの機器が有効であるか、また、使用にあたっての注意点について学びました。また、希望者は実際に機器に触れたり試聴したりするなどの体験も行いました。

職員研修⑤公開講座①「聴力測定とオーディオグラムの読み方・生かし方」 講師：本校教諭 吉田翼

オーディオメーターの使い方やオーディオグラムの読み方について学びました。幼児児童生徒のきこえの状態を把握し、教育活動につなげることの重要性を確認しました。また、測定結果だけでなく、きこえの状況を把握できるような日常の関わりの大切さについても考える機会となりました。

職員研修⑥公開講座②「補聴器について」 講師：ブルーム盛岡店 逢坂和哉氏

補聴器について、最新情報も含めて詳しくお話していただきました。学校現場での実践に役立つ補聴器の管理や扱い方についても詳しく教えていただき、日々どのような点に気を付けるべきかを改めて確認することができました。また、助成や手帳の申請についても分かりやすく教えていただき、理解を深めることができました。